

# 制振工学研究会ウェブサイトのリニューアル

ウェブサイト WG 神田 浩一

## 1. はじめに

制振工学研究会ウェブサイト（以下 SDT ウェブサイト）は 2020 年 10 月にリニューアル運用を開始しました。

制振工学研究会の旧ウェブサイトの運用開始は 2002 年でした<sup>1</sup>。最新の HTML<sup>2</sup>4.01 による運用で、フレームを利用したページの表示で、当時としては見やすいページ構成、そして CGI<sup>3</sup>の機能を利用して、会員の情報管理も実現しました。

ウェブサイトの立ち上げ時はウェブサイト制作会社に発注しましたが、その後はホームページワーキンググループ（現ウェブサイト WG）が更新作業を行ってきました。しかし基本構造が同じで 10 年以上運用してくると弊害も大きくなってきました。特にページの見栄えやサイトの見通しの悪さが増加し、会員の情報管理も煩雑化し問題になっていました。

そこで、思い切ってウェブサイトの大幅リニューアルを行うことにしました。リニューアルにあたって考慮したことは次のとおりです。

- (1) プロのウェブデザイナーでなくても開設から運用がしやすいこと。
- (2) 会員の情報管理をウェブサイトから切り離し、情報委員会と事務局で行い、ウェブサイトでは会員限定のページへのアクセス権の管理のためのユーザー登録をする。
- (3) 機能、経済性を考慮しレンタルサーバーの契約をみなおす。

開設、運用の容易さと、広く普及していることから、新ウェブサイトには WordPress<sup>4</sup>を導入することとしました。レンタルサーバーは GMO インターネット株式会社の「かんたんサーバー」から同社のお名前.com レンタルサーバー<sup>5</sup>に変更しました。

以下リニューアルしたウェブサイトの概要を紹介します。

## 2. 新ウェブサイトの概要

現在、ウェブサイトは sdt-jp.com ドメインのメインウェブサイトと、サブドメインを有する二つのウェブサイト（文献検索サイト、技術交流会専用サイト）に分離しました。

旧 SDT ウェブサイトでは会員のみが閲覧できる領域を設定していましたが、新しい SDT ウェブサイトでは、ユーザー登録した会員のみ閲覧できるページを個々に設定できます。ユーザー登録した会員はトップページまたは会員の広場のページからログインすることにより、シームレスに会員専用のページを閲覧することができます。

- (1) メインウェブサイト (<https://sdt-jp.com>)

図 1 にメインウェブサイトのトップページを表示しています。

一部を除いてどのページもメインエリア、フッターエリア、サイドバーエリアで構成されています。

メインエリアではそのページの投稿一覧や投稿内容を表示しています。フッターエリアとサイドバーエリアは、一部を除いてどのページでも表示されています。